

平成27年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、白根図書館・月潟図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：白根図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
ネットワーキングを活かした課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス（調査・相談）サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	レファレンス件数は目標値に届かなかった。 H25実績：323件 H26実績：286件 H27実績：246件 <H27目標値：300件>	揭示・カウンター整理も行い、利用者自身が端末で気軽に蔵書を調べることができるようになったため、レファレンスが減少しました。しかし所蔵調査の受付件数は増加していることから、少しずつPRRの効果が表れてきていると考えます。今後も継続して周知を行っていきます。	3 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。75% 1 評価できない。0%	・端末操作が苦手な人もいろいろ、電話で知ることができ、ありがたい。 ・継続してPRするといふ。 ・館内が静かすぎる？職員笑顔とBGMで声掛けしやすい雰囲気づくりを望みます。 ・レファレンスという言葉がわからないので、日本語の注釈をつけてほしい。
	◆館の重点評価項目 展示架等積極的展開	・公民館事業に関連した資料の展示を行い、広く市民に図書館利用をPRする。 ・利用者ニーズや時節にあった資料展示で情報提供を行う。	テーマ展示： （白根）H27実績 46回 ※うち3回は、白根地区公民館の事業に関連した展示。 （月潟）H27実績 63回	白根ではビジネスコーナーやテーマ展示コーナーなど、展示架の注目度は高いと考えます。今後も効果的に展示を行い、利用拡大につなげていきます。公民館関連事業の展示も積極的にを行い、さらに連携を図ります。 月潟では定期展示の他、ミニ展示も定着してきました。身近な情報提供、話題性を心がけており、貸出冊数増加につながっています。	3 大変評価する。50% 2 ある程度評価する。50% 1 評価できない。0%	・展示架はいつも工夫されていて必ず見るようにしています。 ・通路の端辺が違和感なく使われ、便利と思います。 ・小中学校の教科書展示は非常にいい企画で、楽しく勉強させてもらいました。 ・白根・月潟とも行ったびに変化があり、見て楽しめます。 ・テーマの分野拡大することで一層、興味を抱き、利用拡大につなげていけそうです。
特色ある地域づくりを目指す分館図書館	◇全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	南区の図書館として、夙・農業関係資料の収集は勿論、関係行政資料についても情報を広く求め、収集している。 H26実績：6,996冊 H27実績：7,373冊 <H27蔵書目標：7,300冊>	白根では幅広いレファレンスにも対応できるよう、積極的に収集を行っています。 月潟では活用価値・保存価値の高いものを優先して収集に努めました。	3 大変評価する。62.5% 2 ある程度評価する。37.5% 1 評価できない。0%	・郷土を知ることは大切、地域密着型図書館として地域資料の充実に努めてほしい。 ・農業初心者として参考にしています。 ・収集資料は相当の数を有しています。 ・各地区の文化芸術資料（大芸芸・神楽舞など）をもっと集めていいと思います。
	◆館の重点評価項目 農業等産業関連図書館の充実	南区の主産業である農業図書収集を進めるとともに、他の地場産業関連図書にも拡大する。	同上	農業関係者を支援できるよう、農業図書の収集を行っています。白根では26年度からオンラインデータベースの提供を行っていますが、さらにPRが必要であると考えます。	3 大変評価する。50% 2 ある程度評価する。50% 1 評価できない。0%	・オンラインデータベース提供の積極的PRを望みます。 ・農協とのタイアップで農業関連本の貸出を増やせなにか。
子ども・市民・読書活動型図書館	◇全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。事業の充実を図るため、3歳児健診会場でアンケートを実施するなど、今までのブックスタート事業の検証を行う。	月一回の1歳誕生歯科健診時に実施。 H26参加実績：317名（12回） H27参加実績：348名（12回） <H27参加目標：364名>	ボランティアや関係課の協力もあり、スムーズに運営できました。5年目が終了し、ブックスタートという言葉も浸透してきています。引き続き、参加者に読み聞かせや図書館利用をPRしていきます。	3 大変評価する。100% 2 ある程度評価する。0% 1 評価できない。0%	・参加目標まで到達しなくても年々増加しており評価します。 ・最初に出会う自分だけの本は大切、これからも継続を望みます。 ・「ブックスタート」という言葉がごく普通の通過点になってきた感があり、喜ばしい。 ・ブックスタートはとてもいい試みで、小学校入学時等にもあるといい。 ・3歳児健診アンケート結果が得られれば、更なる内容の向上につながると思うので実行していただきたい。 ・子供への働きかけをさらにに行い、アニメに親しむ前に昔ながらの紙芝居を使う機会もあっていいのではないかと。
	◆館の重点評価項目 職場体験・ふれジョブ等受入	学校からの見学・職場体験、ふれジョブ等、積極的に受入れる。	図書館見学・職場体験等を積極的に受け入れた。 （白根）見学：1件18名 体験：8件22名 ふれジョブ：2件2名 （月潟）見学：2件58名 体験：3件5名	白根では前年度同様、積極的に見学・職場体験・ふれジョブを受け入れました。今後も学校や民間団体と連携を図りながら、できる限り要請に応じていきます。 月潟でも積極的受入体制をとっています。	3 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。62.5% 1 評価できない。12.5%	・職場体験受け入れ態勢は整っているものの、体験希望者の増加は難しいと思います ・子供たちの感想を参考に、次年度も願います。 ・手間はかかるかもしれないが、いい点もある筈。 ・学校図書館との違いを知ってもらうためにも、さらに増やしたらどうか。
市民・ボランティアと協働型図書館	◇全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	白根図書館の応援団である「しろね図書館友の会」を中心に共催事業を実施した。 <共催>読書会 毎月第3日曜日 <共催>三浦太郎氏講演会（12月） <連携>図書館まつり（11月）	例年同様、友の会に共催を依頼して図書館事業の充実を図りました。また、白根図書館開館15周年イベントとして、図書館まつりでは「くじ引き」を連携して行いました。	3 大変評価する。37.5% 2 ある程度評価する。62.5% 1 評価できない。0%	・もっとPRされたい。 ・なお一層の連携に努めてください。 ・まつりの「くじ引き」が子供の興味を抱かせ、今後の来館につながるかと期待します。 ・講演会参加者を増やす工夫をしていただきたい。 ・ボランティア参加希望者は多いと思うので、パンフレットに詳しい掲出を望みます。
	◆館の重点評価項目 ボランティア講座の実施	ボランティア育成のため、前年と同様に養成講座を実施した。	読み聞かせボランティア養成講座参加人数：6名	白根では養成講座の参加者が増加し、「しろね・おはなしかご」のメンバーの新規加入につなげることができました。ステップアップ講座は実施できずでしたが、28年度は内容を検討し、多くの方が参加できるような講座を開催する予定です。 月潟では養成講座の参加者が得られなかったため、再検討が必要と考えます。28年度は現在活動中の読み聞かせ等ボランティアグループの活動の機会を増やし、ボランティアのステップアップにつながるよう協力する予定です。	3 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。75% 1 評価できない。0%	・もっとPRされたい。 ・月潟の「えほんのへや」の会員が増えれば活性化するのでないかと。 ・ボランティア参加呼びかけの継続と、活発な活動を続けてほしい。 ・どんなサークルでも参加者を増やすことが困難になっている昨今、頑張りを持ってほしい。